

評価 (C) ↓ 改善 (A)	R6年度	評価 (C) 【目標等を踏まえた評価、改善方策】 ○ 精神病床における一年以上長期入院患者数【令和6年6月末】：2,022人 ○ 活動指標は概ね見込数を達成しています。 (施策等について) 昨年度に引き続いて、保健・医療・福祉関係者が地域移行の推進に活用できる冊子である「精神障害者地域移行支援ガイドブック」の配布、精神障害者地域移行研修（支援者向け）や精神障害のある方の家族に対する相談会を実施しました。 また、各区役所では精神保健福祉相談員が精神障害者やその家族からの相談に対して、面談や訪問、電話等で対応しており、希望がある場合には、専門医による相談（精神保健福祉相談）を利用する体制も整えています。 加えて、精神障害にも対応した地域包括ケアシステムを構築する要素として欠かせない、地域住民へのメンタルヘルスの普及啓発手段である「心のサポーター養成研修（厚生労働省事業）」の開始に着手し、240名が受講しました。 今後も協議の場での意見等を踏まえながら、精神障害の有無に関わらず誰もが安心して生活できる地域づくりを目指していきます。	協議会等意見 【評価等に対する意見】 特になし	改善 (A) 【今後の取組等】 引き続き協議の場（北九州市精神保健福祉審議会）を通して、事業の充実を図るとともに、「北九州市精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築」の推進に努めます。
		評価 (C) 【目標等を踏まえた評価、改善方策】 ○ 精神病床における一年以上長期入院患者数【令和7年6月末】：1,991人 ○ 活動指標は概ね見込数を達成している。 (施策等について) 昨年度に引き続いて、保健・医療・福祉関係者が地域移行の推進に活用できる冊子である「精神障害者地域移行支援ガイドブック」の配布、精神障害者地域移行研修（支援者向け）や精神障害のある方の家族に対する相談会を実施した。 また、各区役所では精神保健福祉相談員が精神障害者やその家族からの相談に対して、面談や訪問、電話等で対応しており、希望がある場合には、専門医による相談（精神保健福祉相談）を利用する体制も整えている。 加えて、精神障害にも対応した地域包括ケアシステムを構築する要素として欠かせない、地域住民へのメンタルヘルスの普及啓発手段である「心のサポーター養成研修（厚生労働省事業）」では、271名が受講した。 今後も協議の場での意見等を踏まえながら、精神障害の有無に関わらず誰もが安心して生活できる地域づくりを目指していく。	協議会等意見 【評価等に対する意見】	

		改善 (A) 【今後の 取組等】	
評価 (C) ↓ 改善 (A)	R8年度	評価 (C) 【目標等 を踏まえ た評価、 改善方 策】	
		協議会 等意見 【評価等 に対する 意見】	
		改善 (A) 【今後の 取組等】	

第7期北九州市障害福祉計画・第3期北九州市障害児福祉計画の
目標等の管理シート

担当部局

保健福祉局 障害福祉部

成果目標

(3) 地域生活支援の充実

目
標
値

○令和8年度末までの目標値

地域生活支援拠点等の機能のうち、「緊急時の受入れ・対応」については、令和8年度末まで1箇所以上を維持するとともに、「相談」及び「体験の機会・場」の各機能についても1箇所以上整備し、その機能充実のためにコーディネーターによる効果的な支援体制の構築を進めながら、運用状況を検証、検討するための会議を年1回以上開催することを目標とする。

【目標設定の考え方】

障害のある人やその家族が地域で安心して生活できるよう、緊急時にすぐに相談でき、必要に応じて緊急的な対応を図る体制の確保や、体験の機会・場の提供や入所施設や病院等から一人暮らしなどへの移行支援等のため、地域の社会資源を活用し、地域生活支援拠点等の整備を行うとともに、地域のニーズや課題に応えられているかを継続的に検証・検討を行う。

計
画
(P)
↓
実
施
(D)

活
動
指
標
(内
容)

			R 6	R 7	R 8
地域生活支援拠点等の設置	設置数	見込	「相談」 「緊急時の受入れ・対応」 「体験の機会・場」の機能ごとに1箇所以上	「相談」 「緊急時の受入れ・対応」 「体験の機会・場」の機能ごとに1箇所以上	「相談」 「緊急時の受入れ・対応」 「体験の機会・場」の機能ごとに1箇所以上
		実績	「相談」「緊急時の受入れ・対応」 「体験の機会・場」の3つの機能を満たす3グループを選定し、モデル的に拠点としての支援を実施（12事業所）。	「相談」「緊急時の受入れ・対応」 「体験の機会・場」の3つの機能を満たす3グループにより、モデル的に拠点としての支援を実施（13事業所）。	
地域生活支援拠点等の機能充実を推進するコーディネーター設置	設置人数	見込	1人	1人	1人
		実績	1人	1人	
機能充実に向けた検証及び検討会	実施回数	見込	3回	3回	3回
		実績	4回	3回	